



第27回 ヒューマンライツセミナー



テーマ

2億人のインクルージョン — SDGsとダリットコミュニティ

貧困をなくし公正な世界を実現するために2015年から始まったSDGs（持続可能な開発目標）。「誰も置き去りにしない」というそのスローガンのためには、目標に向けたプロセスにおいてそこに居る人びとの包摂（インクルージョン）と参加が保障されなくてはなりません。周縁に追いやられたコミュニティとして最大の人口を有する南アジアのダリットにとって、SDGsのスローガンは差別を支える構造への挑戦でもあります。日本にいる私たちはその挑戦にどう関わられるでしょう。先住民族アイヌの視点によるSDGsの取り組みからも学びながら考えます。

2018
10.15 月 13:00 ~ 16:00

会場
日本教育会館 一ツ橋ホール (東京都千代田区一ツ橋2-6-2)
参加資料代: 3,500円 (関連書籍代含む)

報告

ダリットとインクルージョン



ポール・ディバカー
アジア・ダリット権利フォーラム代表

マイノリティ女性とSDGs

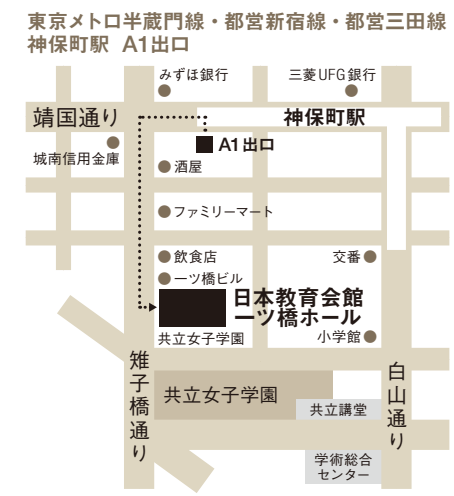


ジェイシュリー・マンガハイ
太平洋共同体 上級人権アドバイザー

コメント

持続可能な開発とアイヌ民族

小泉 雅弘
NPO法人さっぽろ自由学校「遊」 事務局長



写真提供: OHCHR Robert Few
ネパールのダリット居留地の共同ポンプで気持ちよく顔を洗う住民。これが異なるカーストが混住する地区ならば、ダリットは地区の共同の水源を使うことを許されない。

主催 第27回 ヒューマンライツセミナー実行委員会

連絡先 事務局 反差別国際運動 (IMADR)
〒104-0042 東京都中央区入船1-7-1 松本治一郎記念会館 6階
Tel: 03-6280-3101 Fax: 03-6280-3102 e-mail: event@imadr.org